

第18回金太郎杯中学生野球大会

実施要項

目 的:明日の日本を担う子どもたちを育てるという観点から、野球競技を通じて青少年の健全育成をめざし
中学生の成長段階を考慮し、高等学校硬式野球への移行を図る目的とする。

主催主管:神奈川県KB野球連盟

後 援:一般財団法人日本中学生野球連盟

会 期:2020年11月28日(土)

【予選リーグ】3 会場:立花学園大井球場・平塚市大神スポーツ広場2面

2020年11月29日(日)

【決勝トーナメント】立花学園大井球場

《29日予備会場:立花・大神》/《予備日:12月5日(土)・6日(日):未定》

監督会議:2020年11月8日(日)19時00分(予定)～ひまわりスポーツ

大会本部:神奈川県KB野球連盟事務局 中世古かおり 携帯:080-5422-2009

(ひまわりスポーツ内:平塚市夕陽ヶ丘 35-22 TEL・FAX:0463-21-2009)

参加チーム:神奈川KB連盟所属6チーム、中体連所属代表3チーム計9チーム

チーム編成:監督、コーチ2名、選手25名の28名以内

大会参加費:20000円(10/20頃までにお振込み)

競技方法:

①全試合7イニング制とする。

※延長戦は行わず、特別延長戦(タイブレーク方式)を採用する。

②試合時間が90分以内とし、越えた場合は新しいイニングに入らない。

③投手は1日7イニングまで投球できるものとする。ただし、特別延長戦の場合は、この限りではない。

④同点の場合は特別延長戦を適用する。(2回まで)

※特別延長戦とは、一死満塁より継続打順で試合を続行する。

※同点の場合は、この時点のメンバー全員の抽選で勝敗を決定する。(トーナメントに限る)

⑤得点差によるコールドゲームは5回7点差とする。ただし、決勝戦はこの限りではない。

⑥降雨などで試合不可能になった場合、5回の裏が終了し得点差がある場合、また5回表が終了し後攻側が勝っているときは、成立する。

⑦シートノックは5分以内とする。ただし、試合開始予定時刻が延びたり天候状況によってはシートノックを省くこともある。

競技規則:

①2019年公認野球規則及び大会特別規定による。

②大会特別規定は、別に定める。

③使用球は、ナガセケンコー社製軟式M号球(赤ライン入り)とし大会本部にて用意する。

④バットは、軟式用・硬式用・ローバウンドボール用の金属バットが使用できる。したがって複合バット(TPXカタリスト等のハーフ&ハーフ構造のバット)及び金属素材以外のバットは使用できない。

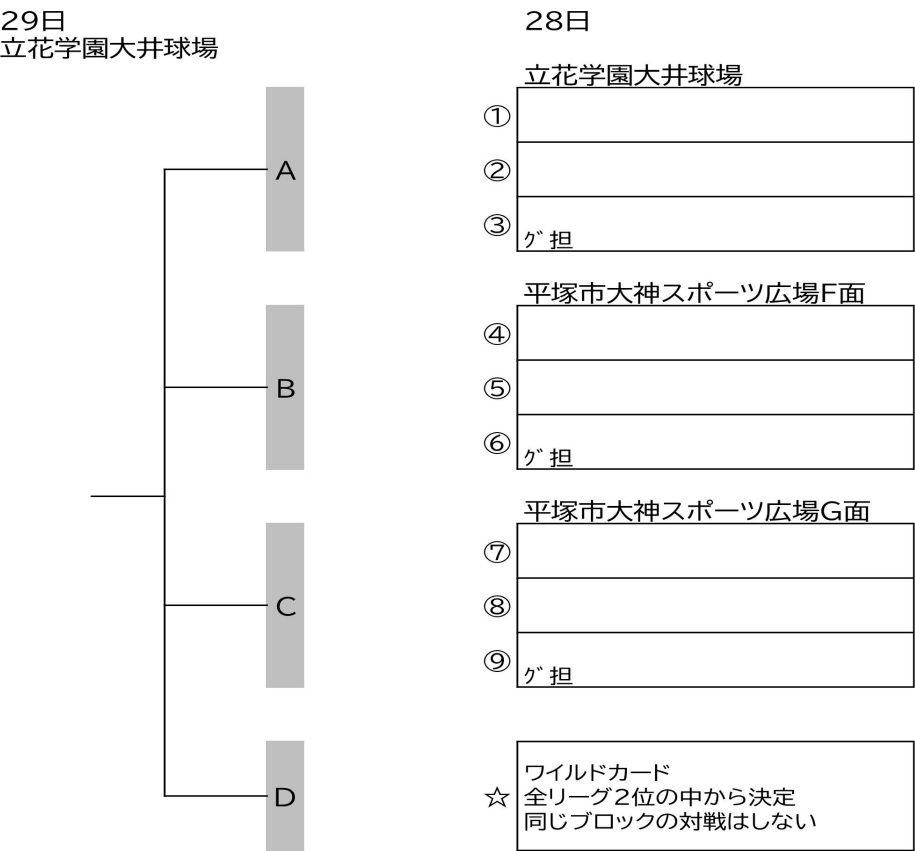
⑤捕手は、マスク(軟式用)、ヘルメット(軟式用)、プロテクター(軟式用)、レガース(軟式用)、セーフティーカップ、スロートガード(軟式用)を着用する。

- ⑥打者、走者、次打者およびベースコーチ(監督・コーチ可)はヘルメットを着用する。
- ⑦サングラスの使用は、野手が眩しくてプレイに支障が出る場合や、疾病等のやむを得ない場合は審判委員に申し出て使用を許可する。但し、ミラーコーティングされたレンズは許可しない。
- ⑧監督・コーチは選手と同一のユニフォームで背番号をつけること(監督30番、コーチ28・29番とする)。アンダーシャツ、ストッキング、スパイク等も選手と同一色で統一すること(人工芝用スパイク可)。アップシューズ等についても選手スパイクと同一色とする。
- ⑨ベンチへ入る代表者(団長)1名は、襟付きシャツにチノパン等代表者(団長)としてふさわしい服装もしくは背番号のないユニフォームを着用する。

【決勝トーナメント進出条件】【ワイルドカード選出条件】

- 1、勝点が多いチーム(コールド勝ち:6点/勝ち:5点/特別延長勝ち:4点/引分け:3点/特別延長負け:2点/負け:1点/コールド負け:0点)
- 2、失点の少ないチーム 3、得点の多いチーム 4、抽選

●組合せ



●雨天判断①午前6:00②午前8:00

※チームは試合開始予定時刻の一時間前までに球場に到着し、大会本部(グラウンド担当)へ申し出ること。

●タイムスケジュール

第一試合9:00～第二試合11:00～第三試合13:30～
 (①vs②)(③vs一試合目の敗者)(③vs一試合目の勝者)

●参加チーム一覧

- (参加予定)

1、横浜隼人中学校クラブ

2、東海大相模中等部

3、ひまわりベースボールクラブ

4、横浜 K-CLUB

5、オール平塚

6、座間クラブ

7、青葉ベースボールアカデミー

8、港北クラブ

9、秦野クラブ